

関西医療大学 研究データポリシー

令和8年4月1日 制定

関西医療大学（以下、「本学」という。）は、医療・保健分野を中心とした研究活動により生成、収集又は取得される研究データについて、研究の信頼性と倫理性を確保しつつ、現実的かつ持続可能な管理と活用を行うための基本方針を以下の通り定める。

（定義）

1. 本ポリシーが対象とする研究データとは、本学に所属する教職員及び学生等（以下、「研究者」という。）が研究活動の過程で生成、収集又は取得したあらゆる研究成果の基盤となる情報を指す。なお、ヒトを対象とする臨床研究においては、被検者の個人情報、診療情報、検査データ等が含まれるものとする。

（適用）

2. 本ポリシーは、本学において実施されるすべての研究活動に適用する。ただし、共同研究を行う外部機関との契約等により別途定めがある場合は、それらを優先する。

（研究データの管理）

3. 研究データの管理並びに公開及び利活用に供する方法は、それを生成、収集又は取得した研究者が、法令、本学の規程その他これに準ずるもの並びに他の者の権利及び法的利益を害さない範囲内において、決定することができる。

（研究者の責務）

4. 前項に掲げる範囲内において、研究者は、研究データを適切に管理し、医療・保健の特性を踏まえ、対象者の利益、被験者の権利保護、倫理的配慮、知的財産権等に最大限の配慮をした上で、可能な限りそれを公開し、利活用に供する。

（研究倫理及び法令遵守）

5. 研究データの取扱いにあたっては、研究者は、個人情報保護法、生命・医学系研究に関する倫理指針及び本学の研究倫理指針を遵守しなければならない。

（大学の責務）

6. 本学は、研究データの管理並びに公開及び利活用を支援する環境の整備を推進する。

（ポリシーの見直し）

7. 本ポリシーは、研究環境や社会的要請の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。